

講演会

領土・主権展示館 リニューアル・拡張オープン記念講演

揺れ動く国際秩序と日本の領土

2025年10月24日[金] 16:00~17:10(開場 15:30)

[会場] 領土・主権展示館 ゲートウェイホール

参加無料

現在、国際社会は再び歴史の大きな転換点にあります。二度の大戦の惨禍と冷戦を経て、自由、民主主義、基本的人権の尊重、法の支配といった普遍的価値に基づく、共存共栄の国際秩序が形成されてきました。しかし、既存の国際秩序により受益してきたはずの一部の国家は、急速かつ不透明な軍事力の強化を進め、独自の歴史観に基づき既存の国際秩序に対する挑戦を強めています。ロシアによるウクライナ侵略、東シナ海や南シナ海などでの力や威圧による一方的な現状変更の試みなど国際社会は厳しさを増しています。このような中で、日本は、今後領土の一体性を保ち、法の支配に基づく自由で開かれた国際社会を維持するためにはどう行動すべきか、北方領土、竹島、尖閣諸島などをめぐる情勢についてどのように対応すべきか、内閣官房副長官補や国家安全保障局長次長を務められた兼原信克氏にご講演いただきます。



講師

兼原 信克氏

笹川平和財団常務理事
(元内閣官房副長官補)

1959年山口県生まれ。東大法学部卒業後、外務省入省。条約局国際法課長、北米局日米安全保障条約課長、総合外交政策局総務課長、欧州局参事官、国際法局長などを歴任。国外では欧州連合、国際連合、米国、韓国の大使館や政府代表部に勤務。2012年発足の第二次安倍政権で、内閣官房副長官補(外政担当)、国家安全保障局長次長を務める。2019年に退官後、2020年から2025年3月まで同志社大学特別客員教授を務める。2023年より笹川平和財団常務理事。2025年4月より麗澤大学特任教授。2015年仏政府よりレジオンドヌール勲章を受勲。

本講演の内容は講演者の個人的な見解であり、講演者の所属機関あるいは主催者の見解を必ずしも代表するものではありません。



お申し込み方法

定員 先着80名(事前申込み制)

参加申込み方法 ①講演会名 ②開催日 ③参加者全員の氏名

お問い合わせ先 領土・主権展示館 03-6257-3715

④代表者の電話番号を明記のうえ、

info@mtas.go.jp までメールにより送付

※本講演は、後日YouTubeチャンネルにて公開予定です。詳細はHPをご覧ください。

イベントの内容が変更・中止となる場合がございます。お出かけ前にHP等をご確認ください。



領土・主権展示館
NATIONAL MUSEUM OF
TERRITORY AND SOVEREIGNTY

所在地: 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-8-1 虎ノ門ダイビルイースト1階
開館時間: 10時~18時
休館日: 月曜日(月曜日が祝休日となる場合はその次の平日休館)、
年末年始(12月29日から1月3日) ※3月第1週の日曜日は臨時休館
最寄り駅: 東京メトロ 銀座線「虎ノ門駅」3番出口より徒歩1分

入館無料

@ryodoshuken

HP <https://www.cas.go.jp/jp/ryodo/tenjikan>



X (Twitter)



ホームページ



内閣官房
領土・主権
対策企画調整室
Office of Policy Planning and Coordination
on Territory and Sovereignty